

# 身体表現の可能性に光をあてる トヨタ コレオグラフィアワード 2014

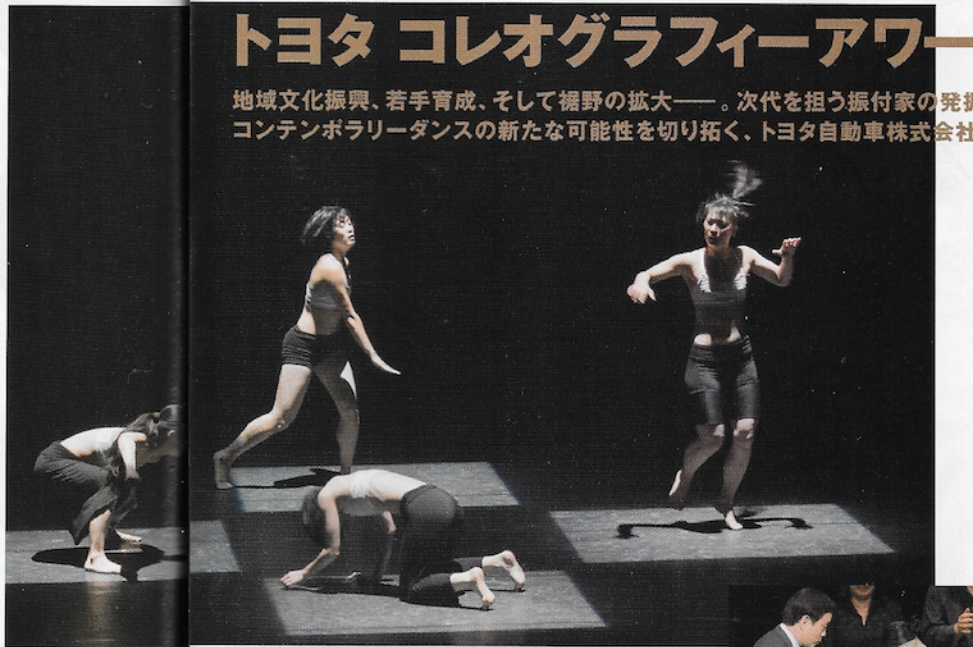
地域文化振興、若手育成、そして裾野の拡大——。次代を担う振付家の発掘・育成に取り組み、コンテンポラリーダンスの新たな可能性を切り拓く、トヨタ自動車株式会社の取り組みに迫る。

ネクステージ  
nextage

～次代を担う振付家の発掘～

TOYOTA  
CHOREOGRAPHY  
AWARD  
2014

トヨタコレオグラフィアワード



受賞した川村美紀子さんの新作「インナーマミー」

次代を担う振付家賞の副賞として、トヨタ自動車株式会社早川専務役員より作品制作費の協賛金200万円が贈呈された



1990年生まれ。日本女子体育大学在学中、横浜ダンスコレクションEX2011最優秀新人賞を受賞。国内外で作品を発表し、海外のアーティストとの共同制作も行っている。

次代を担う振付家賞  
オーディエンス賞  
川村 美紀子さん  
「インナーマミー」

幅広い人材にチャンス  
ダンスの裾野を拡げる

日本におけるコンテンポラリーダンスの振興を目指し、次代を担う振付家の発掘・育成を目的に2001年、トヨタ自動車株式会社が世田谷パブリックシアターの提携事業として創立された「トヨタコレオグラフィアワード」。世界的に活躍する振付家を多数輩出してきた。新進アーティストの登竜門。が今年、2年ぶりに開催された。

8月3日には、東京・世田谷パブリックシアターにおいて最終審査会「ネクステージ」が行われ、203組から選ばれたファイナリスト6名が、熱のこもったファイナリスト6名が、審査委員・ゲスト審査委員による最終選考の結果、川村美紀子さんが大賞である、次代を担う振付家賞を受賞。来年度に行う受賞者公演や金沢21世紀美術館レジデンス・プログラム（作品創作のための稽古場や宿泊施設）などが提供され、制作費用の一部として協賛金200万円が贈られた。また、観客投票で決まる「オーディエンス賞」も併せて獲得しダブル受賞となった。ゲスト審査委員の中には、かつて「トヨタコレオグラフィアワード」

地域の文化・芸術を支える  
トヨタのメセナ活動

今年で9回目を数える「トヨタコレオグラフィアワード」は、豊かな社会づくりを目指すトヨタ自動車株式会社と、環境、交通安全、人材育成と共に社会貢献活動として取り組む、メセナ活動の中核事業のひとつだ。その独創的な活動は、国内はもとより、海外でも注目されている。「受賞者公演には、ダンスに触れたことのない一般市民の方にも多く足を運んで頂きました。約10カ国で受賞作品を上演する機会を得られたのも、トヨタのコンペティション受賞者として興味を持って頂けたことが大きかったと感じています」（砂連尾さん）

自分の身体を通して、舞台の上で独自の世界を創り出す——。コン



寺田 みぞこさん 砂連尾 理さん

1991年にダンスユニット「砂連尾理+寺田みぞこ」を結成。「トヨタコレオグラフィアワード2002」で「次代を担う振付家賞」「オーディエンス賞」に輝く。

テンポラリーダンスには「わかりやすい感動」はない。その代わり、観る側が自由に想像し、解釈する楽しみがある。「近年、システム化が問題視されているコンテンポラリーダンスは、見直しの時期を迎えています。これだけ大きな支援を頂いているからには、我々には面白いものを生み出していく責任がある。若い人たちはもっと自由に、大きな視野でダンスを捉えて欲しいと思っています」（寺田さん）



坂子 びじんさん「no title」



ススキ 拓朗さん「TTTTTTTTTTTTTT」



木村 玲奈さん「どこかで生まれて、どこかで暮らす。」



塚原 悠也さん「訓練されていない素人のための振付けのコンセプト001/重さと動きについての習作」



乗松 薫さん「膜」

2年後の「ネクステージ」の舞台に立つ新たな才能は、どのような可能性を提示してくれるだろうか。コンテンポラリーダンスの今後から目が離せない。

その他ファイナリスト